

紫藤新聞



宮城県白石工業高等学校 報道委員会
 〒989-0203 宮城県白石市郡山字鹿野43
 TEL 0224-25-3240 FAX 0224-25-1476

力合わせて

全国大会 奨励賞

7月27日～31日に茨城県つくば美術館を会場に行われた第38回全国高等学校総合文化祭（いばらき総文2014）写真部門で、写真部の水島悠輔君（電気科2年）の作品『3Dランドへようこそ』が奨励賞を受賞しました。

この大会には各都道府県の選考会を勝ち上がった選りすぐりの307点が寄せられました。その中から上位30点のうちの一点（3位相当）に選ばれたものです。

本校写真部としては8年ぶりの入賞となりました。



水島君の話

○作品について
 構図は顧問の八島先生や他の部員のみならず一緒に考えました。場所は2階のホールです。わいわい言いながら3日かけて5つくらい考えました。楽しかったです。

苦労したのは立体的に見せることです。難しかったのは人の顔にピントを合わせなければならぬことです。

撮影は個人的な要素が強い営みですが、今回の作品はみんなで作ったものなので、受賞は本当に嬉しかったです。

普段はおもに風景写真を撮っていますが、それ以外にもいろんなものに挑戦してみたいと思っています。

うちの写真部は合宿の機会が多く、様々な被写体を経験できるのがいいです。

○全国大会について
 私は茨城県で今年開催された第38回全国高等学校総合文化祭に参加してきました。全国大会では普段の部活では体験できないような経験をさせてもらいました。

例えば、交流会のときは全国の写真部の人たちとさまざまな交流をしながら各高校の部活動や部活での雰囲気などを話しました。交流会での話し合いでは地域ごとの特色や習慣、方言などの話をしても興味深い話を聞くことができました。

撮影会では、笠間芸術の森公園と笠間稲荷神社に行きました。今回の審査員長のハービー・山口さんの人物写真の撮り方やモデルさんとのコミュニケーション

東北大会 共に第3位 力出し切る

この夏行われた『高校生ものづくりコンテスト2014東北大会兼第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会予選』で、本校から参加した「旋盤部門」の大浦章寛君（機械科3年）と「化学分析部門」の長谷川葉月さん（工業

化学科3年）は、共に第3位に入る大健闘を見せました。

2人は、昨年の県大会で第1位となり、宮城県代表になりました。東北大会に向けて地道な練習を重ねに重ね、みごと入賞を果たしたものです。

旋盤作業部門



大浦 章寛くん

化学分析部門



長谷川 葉月さん

◆旋盤作業部門◆
 大浦 章寛
 私はものづくりコンテスト東北大会に旋盤作業で出場し、結果は3位でした。作品の出来と作業のスムーズさは今まで一番よくて、悔いはありません。悔いが残っているとしたら、もう少し指導して下さった顧問の奥田先生をはじめ先生方、応援してくれた仲間や友達、親に感謝と恩返しの意味も込めて優勝したかったです。

次は後輩に自分が持っている技術の全てを引き継ぐことが今後のやるべきことだと思います。そして、後輩には今回の結果を超えて欲しいです。

これまでご指導、応援してくださり、ありがとうございました。

◆化学分析部門◆

長谷川 葉月

練習は気負わずに行い、徐々に分析の精度を上げていきました。前日は友人や先生方を含めてたくさんの方に応援していただいたことを考えていました。

競技は実験台や器具の大きさなどいつもと違い失敗もしましたが落ち着いて練習の成果を発揮することができました。入賞は難しいと思っていたので3位は嬉しかったです。

声をかけていただいたり、応援や励ましを有り難うございました。後輩にも頑張ってもらいたいです。